

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 コロナ禍により地域住民との交流が困難になり、災害時の協力が難しくなっている。	地域の方々にグループホームひまわりの事を知っていただき、災害時の協力を得られるようにしたい。	町内で開催される清掃活動や納涼祭等に職員や入居者、家族が参加し協力体制と信頼関係を築く。	12か月
2	36	○ひとり一人の人格の尊重とプライバシーの確保 勉強会を重ねたり理念を唱えることで入居者の気持ちになり対応できるよう努めているが、口調が友達のようになってみたり、大きい声で対応する場面がみられる。	自身のケアの振り返りの徹底や人生の先輩として敬う気持ちを持つ。	施設内外の研修への参加やチェックリストを利用したり、業務に不備な点が有ったら声を掛合う。	12か月
3	49	○日常的な外出支援 新型コロナウイルス感染拡大にともない、未だ本人の希望する外出支援ができていない。(一度家に帰りたい、家族と食事がしたいなど)	入居者の希望する食事や買い物、馴染みの場所への外出支援、家族や友人の交流をはかる。	できるだけ家族や友人とのコミュニケーションがはかれるよう協力援助する。(電話やLINEなどのコミュニケーションツールの利用など) 同伴者や空間を共にする者のワクチン接種の確認を行い、限られた場所への外出支援(自宅)	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。